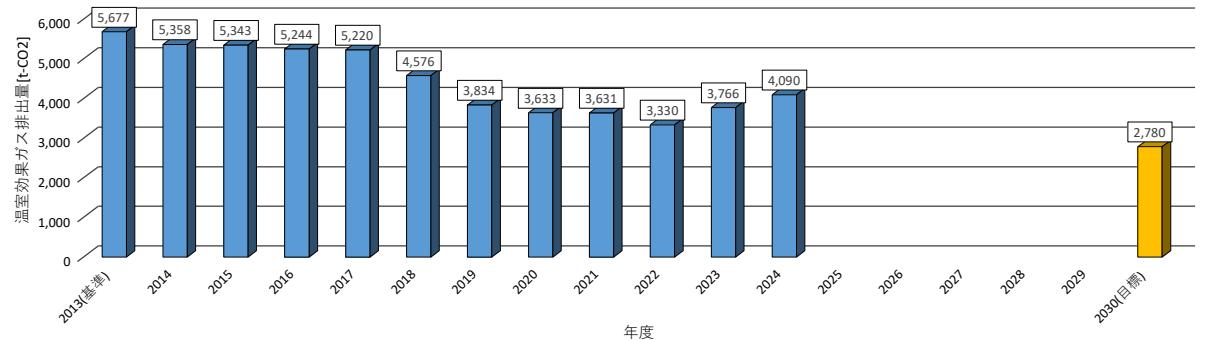


阪南市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）進捗状況

● 温室効果ガス総排出量（単位:t-CO₂）

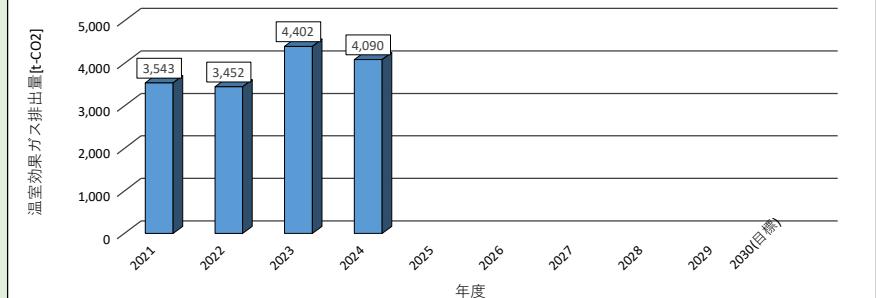
活動単位	年度																
	H25 2013(基準) 4,849	H26 2014 4,518	H27 2015 4,503	H28 2016 4,442	H29 2017 4,457	H30 2018 3,836	R1 2019 3,147	R2 2020 2,938	R3 2021 2,892	R4 2022 2,595	R5 2023 3,059	R6 2024 3,568	R7 2025 3,695	R8 2026 3,568	R9 2027 4,23	R10 2028 611	R11 2029 93
電気の使用																	
基礎排出係数(*1)	4,849	4,518	4,503	4,442	4,457	3,836	3,147	2,938	2,892	2,595	3,059	3,568					
調整後排出係数(*2)																	
燃料の使用	713	730	722	696	661	638	585	594	640	637	611	423					
し尿等の処理	110	104	112	100	96	96	96	97	95	94	93	96					
自動車の走行等	5.5	6.0	5.8	5.7	5.6	5.6	5.5	5.0	3.5	3.5	3.4	3.0					
合計																	
基礎排出係数(*1)	5,677	5,358	5,343	5,244	5,220	4,576	3,834	3,633	3,631	3,766	4,090						
調整後排出係数(*2)																	

温室効果ガス総排出量（基礎排出係数*1）



(*1) 基礎排出係数…電気事業者がそれぞれ供給した電気の発電に伴う燃料の燃焼により排出された二酸化炭素の量（実二酸化炭素排出量）を、当該電気事業者が供給した電力量で除して算出された係数

温室効果ガス総排出量（調整後排出係数*2）



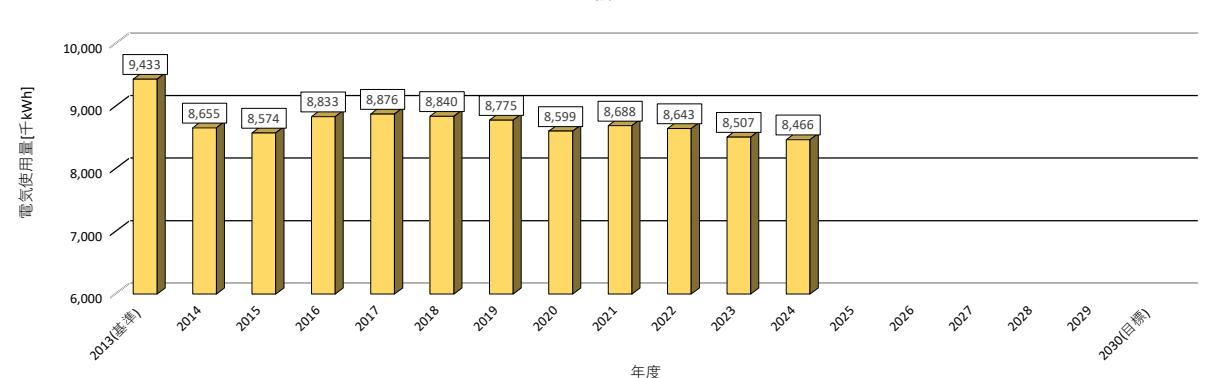
(*2) 調整後排出係数…電気事業者の実二酸化炭素排出量に対して、再生可能エネルギーの固定価格買取制度に係る費用負担による調整を行うとともに、他者の排出の抑制等に寄与した量を控除した結果に基づき算出された係数

基礎排出係数での評価に加え、再生可能エネルギー電力の調達等の取組を反映するために使用します。2021年度分より集計を開始しました。

● 電気購入量（単位:千kWh）：排出量のうち最も大きな比率を占める電気購入量の推移を参考として示します。（太陽光発電システム等による自家消費分を評価できるよう、電気使用量ではなく購入量を示しています。）

活動単位	年度																
	H25 2013(基準) 9,433	H26 2014 8,655	H27 2015 8,574	H28 2016 8,833	H29 2017 8,833	H30 2018 8,876	R1 2019 8,840	R2 2020 8,775	R3 2021 8,599	R4 2022 8,688	R5 2023 8,643	R6 2024 8,507	R7 2025 8,466	R8 2026 8,466	R9 2027 8,466	R10 2028 8,466	R11 2029 8,466
電気の購入																	

電気購入量



主要な取組

年度	概要	年度	概要
2001～2005	・昼休み時の消灯・照明の間引き ・エコマーク商品の推進 ・再生紙使用的の推進	2023	・財務電子決裁システムの導入 ・公共施設への太陽光発電設備等の導入可能性調査の実施
2006～2010	・本庁舎・保健センターの空調システム改修 ・ハイブリッド自動車の導入	2024	・小中学校・保健センターの照明LED化 ・太陽光発電設備導入に向けた設計（はなんらん浄化センターMIZUTAMA館）
2011～2015	・文化センター・図書館の街灯LED化、高効率ヒートポンプの導入 ・防犯灯（市内全域）LED化 ・太陽光発電設備の導入（鳥取中学校）		
2016～2020	・電子決裁システムの導入 ・ノートパソコン・タブレットの導入 ・本庁舎・分館の照明LED化		
2022	・全庁ヒアリングによるソフト面での省エネ化・ペーパーレス化の再徹底 ・省エネ診断の実施（阪南市民病院） ・ZEV（ゼロエミッション車）2台の導入		